

# 公立学校における帰国・外国人児童生徒に対するきめ細かな支援事業

平成26年度概算要求額:98百万円(前年度予算額:91百万円)

本事業は、実施主体(都道府県・指定都市・中核市)の取組に対して、総事業費の1/3を上限として予算の範囲内で交付を行う補助事業である。

**背景** > 帰国・外国人児童生徒及び日本語指導が必要な児童生徒の背景の多様化

**課題** > 対象児童生徒一人一人の実態に応じた、在籍学級の学習活動に日本語で参加できるようにするためのきめ細かな日本語指導  
特に対象児童生徒が少数在籍又は散在する地域における、受入・指導・支援体制づくり

日本語指導が必要な児童生徒を対象とした「特別の教育課程」の編成・実施 (平成26年4月より施行)

**目的** > 帰国・外国人児童生徒等に対する受入れの促進・日本語指導の充実・保護者を含めたきめ細かな支援体制づくり  
日本語指導が必要な児童生徒を対象とした「特別の教育課程」の編成・実施の円滑な導入を目指した指導・支援体制づくり

支援メニュー

(各地域の実情に応じて  
組み合わせる)

日本語指導の充実

- ・「日本語能力測定方法」の活用による、児童生徒の日本語能力の把握 (必須実施項目)
- ・個別の指導計画を作成し、教科学習に日本語で参加できることを目的とした日本語指導の実施
- ・日本語指導に活用できる教材の作成

公立小・中学校等への  
就学の機会の保障

- ・就学相談窓口の設置
- ・就学ガイダンスの開催
- ・関係機関と連携した就学案内  
(パンフレット等の作成・配布)

公立学校への円滑な受入れ

- ・初期適応指導教室(プレクラス)の実施
- ・日本語指導の補助を行う支援員の派遣
- ・子供の支援や学校と保護者をつなぐための母語がわかる支援員の派遣

指導・支援体制の充実

- ・帰国・外国人児童生徒等教育の拠点となるセンター校の設置
- ・域内の公立学校に対する巡回指導の実施
- ・対象児童生徒が少数在籍又は散在する地域における、指導・支援体制の構築・充実
- ・地域全体で取組を推進するための協議会の開催

進路保障

- ・域内の高等学校や公共職業安定所(ハローワーク)等との連携による、進路ガイダンスの開催
- ・高等学校における受入体制づくり  
(支援員の派遣等)



各地域の取組の実践交流

(担当指導主事等連絡協議会の開催、情報検索サイト「かすたねっと」への資料掲載 等)

○公立学校における帰国・外国人児童生徒等の受入体制・支援体制づくりの推進  
○「特別の教育課程」の編成・実施を含めた、日本語指導が必要な児童生徒に対する指導・支援の一層の充実